

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

地域通貨を活用したまちづくり活動とONSEN・健康ライフの促進

2 地域再生計画の作成主体の名称

別府市

3 地域再生計画の区域

別府市の全域

4 地域再生計画の目標

別府市は、九州の北東部、瀬戸内海に接する大分県の東海岸のほぼ中央に位置し、2千8百有余の源泉から湧出する温泉は、一昼夜13万7千キロリットルにも及び、医療、浴用等々、市民生活はもとより観光、産業面にも幅広く利用されている。その世界屈指の温泉資源と温泉文化により、国際観光温泉文化都市として発展してきた。

しかしながら、この優れた資源を有効に生かされておらず、観光旅行市場の質的变化への対応の遅れも相まって、観光経済が活性化しているとは言いがたい状況である。

このような中、本市では、「歴史風土を生かしたまちづくり」を基本とした総合的な取り組みを「ONSENツーリズム」という言葉で表現し、「健康サービス」「スポーツ・コンベンション誘致」「国際化・アジアとの連携」「夜のにぎわい拠点づくり」の4点を大きな柱に掲げて、本市特有の地域資源の有効活用や観光客と地域住民との交流、更には新たな産業振興の推進等に取り組むことで活力を生み出し、市民が住みやすいまちづくりを目指している。

一方、民間レベルでも、住民主体となるまちづくりの意識が非常に高くなっており、多くの団体が自分たちの住むまちに誇りと愛情を持って、住みやすいまちを目指してまちづくりに取り組んでいる。民間主導で別府八湯温泉泊覧会やアルゲリッチ音楽祭、別府八湯ウォーク等の新しい取り組みも進んでおり、実を結びつつある。

これらのまちづくり団体等が互いに連携を持ち、交流・研さんができる場をつくるため、平成16年2月に泉都まちづくりネットワーク(通称:泉まちネット)が発足した。平成17年2月現在、91団体、46個人が参加しており、専用ホームページや交流会、メーリングリスト、更にはニュースレターの発行等により情報交換や交流を行う中で、各団体が主体性をもった自主的な活動やボランティア活動に取り組んでいる。また、行政も積極的に各まちづくり団体等との情報交換を図り、支援体制の充実を図ることで民間と行政との協働のまちづくりを進めている。

また、長い年月をかけて、湯治文化を育んできた本市では、温泉を活用した健康サービス産業による地域活性化への取り組みが民間を中心に進められている。特に、平成12年の秋から、温泉地における健康増進すなわち「温泉地療法」の理念に基づき、地域資源を有効に活用し、心と体の包括的な健康増進を実現する取組として、「別府八湯温泉泊覧会(オンパク)」を春と秋の年2回、計7回開催してきた。オンパク会員も3,000名(内市民会員:約2,500名)を超え、市民の健康への関心は非常に高いものがある。

加えて、本市は温泉療養型観光地として、マッサージの技術が非常に高く、優秀な技術を持つマッサージ師が活躍しており、最近ではエステやファンゴ等の新しい形のマッサージ産業が活気を帯びてきている。

更に、本市は 2002FIFA ワールドカップ出場チームの練習会場地であり、世界基準に対応できる天然芝のグラウンドを含む施設、温水プール、西日本有数の総合体育館（べっぴアリーナ）など、スポーツ環境が整備されている。また隣接する大分市を本拠地とする、九州唯一のサッカー J1 リーグの大分トリニータ（市民会員数：約 300 名）や、別府を本拠地とするプロバスケットボール bj リーグの「大分ヒートデビルズ」も今秋より本格的に始動することから、市民のスポーツに対する関心も高まりを見せ、健康増進のための環境が整備されている。

このような、まちづくりやボランティア活動等の活発化や、健康意識の高揚を受け、本再生計画では住民が主体となるまちづくり活動の支援を行うとともに、地域資源を活かした健康・スポーツを取りこんだ元気なまちづくりを推進するためのツールとして地域通貨を導入し、ウエルネス都市としての発展を目指していく。

本再生計画における、住民主体のまちづくりや健康・スポーツを取り込んだ元気なまちづくりを実現するための具体的目標として次の 2 点を挙げる。

まちづくり活動の推進

本市の掲げる「ONSEN ツーリズム」のまちづくりにおいて、地域住民のまちづくりへの取り組みが不可欠であり、本再生計画においても、どれだけ多くの市民がまちづくり活動に参加したかということが重要となる。その指標として、本再生計画で導入する地域通貨システムの参加窓口となる、カード発行枚数（市民は IC（住基）カード、留学生等は互換カード）を、まちづくり活動参加意欲の表れとし、初年度の新規発行枚数 1,000 枚（平成 17 年 3 月現在の住基カード発行枚数 745 枚）を目指し、計画終了時点では、2,500 枚の発行を目標とする。また、まちづくり活動の主体となる団体数（泉まちネット参加団体数）の 50% の増加を目標とする。

また、イベント等を実施したまちづくり団体に対するアンケート調査を実施し、地域通貨導入に伴うボランティア参加者の 30% の増加を目標とする。

ONSEN・健康ライフ（ウエルネス）の推進

「ONSEN・健康ライフ」とは、健康を肉体面だけでとらえるのではなく、生活全体を積極的・創造的なものにして、健康を維持・増進させようとする生活活動（ウエルネス）のことである。この指標として、本市の健康サービス産業、特にマッサージ、エステといった分野では、市内に在住する約 2,500 名の留学生（人口比で大分県は全国 2 位）の縁によりアジア地域を中心とした世界のマッサージ情報が入ってくるというメリットから、バリ王宮エステ、ハワイ伝統マッサージ、別府八湯ファンゴティカ等、様々なサービスが展開されている。健康サービス産業の活性化の指標として、市内各所で実施されている、エステ、マッサージ等の利用者数の 30% 増加を目標とする。

更に、各種イベント（オンパク、スポーツ観戦等）や市営温泉等の利用を通じた日帰り客数を交流人口の指標とするが、昨今の観光経済状況を取り巻く環境から、本市の日帰り客数は過去 3 年の平均値で 1.9% を示している。このような状況を鑑みて、日帰り客数の 3%（約 23 万人）増を目標とする。

また、地域通貨ポイントは各団体等の活動に対するボランティアやイベント参加等に対して、個人に付与されることから、住民等のまちづくり活動への取り組みや貢献状況の把握ができる。また、付与されたポイントは、まちづくり団体等の主催行事・

各種サービスや、公共施設の利用、スポーツ観戦、各種イベント等に利用することができ、利用状況の把握ができる。

これらのことから、利用ポイント数と付与ポイント数が、そのバランスを保つことにより地域通貨がシステムとしての機能を発揮することができるので、本再生計画における地域通貨システムの総合的な評価及び検証を年度毎に行う。

5 目標を達成するために行う事業

5 - 1 全体の概要

本市の観光が目指す将来ビジョンとして、別府の地域資源である自然と温泉を生かし、新たな産業振興など躍動的なまちづくりを進め、市民の誇りや豊かさを生み出していくための統一テーマとして「ONSENツーリズム」を掲げ取り組んでいる。

このONSENツーリズム推進のためには、市特有の地域資源の有効活用や観光客と地域住民との交流、新たな産業振興の推進等に取組むことで活力を生み出すこと、更に住民が主体となるまちづくり活動の支援等行政、民間、市民が互いに連携し、市民参加による元気なまちづくりを進めていく。

現在、まちづくり団体のネットワーク化、地域・健康関連イベントの開催、スポーツ観光の推進等が多方面で取り組まれており、それぞれが成果を上げてきている。これらの取り組みを一体的なものとしていくためのツールとして地域通貨を導入し、本市の地域再生を図る。

5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

5 - 3 その他の事業

(1) 支援措置 C0404 (地域通貨モデルシステムの導入支援) を活用して行う事業

本市において行われている住民のまちづくり活動をさらに活発にし、地域再生を図るためのツールとしてIC(住基)カードを使った地域通貨システムを活用するものである。

具体的には、本市及び泉まちポイント運営委員会(仮称)が中心となって地域通貨システムの管理運営を行い、初年度参加者数1,000名を目標に、泉都まちづくりネットワーク等を通じ、各団体等から参加希望者を募る。

地域通貨ポイントの流れとしては、ポイントを各団体の活動に対するボランティアやイベント参加の個人に対して付与し、入手したポイントを、個人間のコミュニティ活動での活用や、各まちづくり団体によるサービスに利用することで、住民主体のまちづくりの推進、地域コミュニティの再構築へとつなげる。

また、住民が心身ともに健康になれるように、各種イベントの参加やスポーツ観戦、さらに市営温泉や体育施設、文化施設といった公共施設でのポイント利用を可能にすることで、健康・スポーツを活用した元気なまちづくりの実現を目指す。

(別添資料 「地域通貨システム概要」、「地域通貨の流れ」参照)

(2) その他の事業

本市において下記のテーマに関する独自事業を展開する。

住民の健康増進

- ・湯けむり健康教室の開催
65歳以上の市民の健康保持、体力づくりのためのプログラムを提供。
- ・べっぴんアリーナスポーツ教室の開催
市民対象の健康増進のためのプログラム。
- ・市民健康祭の開催
健康診断、健康相談、運動能力測定等を実施する年1回の健康イベント。

国際交流の推進

- ・国際交流の船
市内に在住する多くの留学生と市民が各国の文化を通じて交流するイベント。

スポーツ観光の推進

- ・J1サッカーチームキャンプ誘致
ワールドカップ出場チームの練習実績等、サッカー環境に恵まれた本市でのキャンプ誘致を継続実施。
- ・国民体育大会開催
平成20年に第63回国民体育大会が開催。本市では6競技が行われる予定。

住民主体のまちづくり活動

- ・泉都まちづくりネットワーク活動
まちづくり団体が互いに連携・交流し、ネットワークを広げることで市民主体のまちづくりを進めていくことを目的に発足。継続的な活動を展開している。

6 計画期間

認定の日から平成20年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

評価の時期

- 初年度：計画終了後1ヶ月以内
- 最終計画年度終了後1ヶ月以内

方法

評価機関は民間のまちづくり団体等が主体となる泉まちポイント運営委員会及び実施主体である別府市が行う。

評価については事業の指標となる、IC(住基)カード発行枚数、ポイント数の集計、統計資料の整理を行うと共に、本事業に参加しているまちづくり団体、事業関係者等を対象としたアンケート調査を行い、指標を分析する。分析結果については、市報及び市ホームページ等を通じて公表することとし、市民等へのPRも合わせて行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし